



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第283号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113
発行者／横地 常広 編集責任者／松岡 敏彦 発行日／平成25年10月1日 印刷所／小林クリエイト(株)



秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七草の花
山上憶良(万葉集)

10月号の内容

- ◆ メディメッセージ 2013 終了 …… 1～2
- ◆ 第30回静岡県医師会精度管理調査中間報告 …… 3～8
- ◆ 研修会終了報告、会員の異動 …… 9
- ◆ 10月・11月・12月の行事予定 …… 10
- ◆ 研修会・講習会案内 …… 11～15

速報

メディメッセージ 2013 in 沼津 無事終了！！

事務局長 伊藤 喜章 (遠州病院)

台風の影響が影響し天候に不安が残った8月31日(土)～9月1日(日)に沼津市のキラメッセぬまづ・多目的ホールにて前回の浜松から約二年ぶりに『メディメッセージ 2013』が開催されました。沼津医師会や三島市医師会や静岡県看護協会などの医療関係者が協力している中、我が静岡県臨床衛生検査技師会(ピンクのビブス着用)も公益事業の一環として参加させて頂きました。

東部地域の病院・施設の技師長様方には原田副会長や東部理事の呼びかけに快く、また多大な協力を頂いた結果、東部23施設からのご協力が得られました。

初日は54名(会員38人・理事16人)二日目は53名(会員42名・理事11名)の参加協力を得て盛況裏に終わる事が出来ました。二日間の一般来場者は、過去最高来場者だった前回は超え、新記録の“7000人超え”(初日3000人、二日目4000人)との情報です。協力して下さいました会員技師の皆様も非常に大変だったのではと思います。特に二日間を通して参加してくれた数人の若手技師は相当お疲れだったと思います。

技師会としては、顕微鏡ブース(病理・血液)と測定ブース(超音波・体成分分析・動脈硬化・肺活量・貧血)と職業紹介ブースを担当し、職業紹介は主に静臨技理事が担当しました、今回は前回実施した骨塩測定のかわりに肺活量と貧血が加わりました。前回時のノウハウを活用し、出来るだけ病院単位で各部署の担当して頂きました。おかげさまで前回までやっていた協和医科の方々からは円滑に稼働していたとの評価をいただきました。今回は諸般の理由により参加までには至らなかった会員・施設の皆様には3年後(再び東部地域での開催予定)には是非、参加協力をお願いします。

来年度は中部地域、翌年には西部地域で開催予定と聞いておりますので皆様のご協力をエネルギーにがんばって計画していきましょう。

今回中心となってお尽力を頂いた原田副会長からの詳しい報告と参加者の感想の声を次号で掲載出来たらと思っております。

****今回参加して下さった 23 施設・会員に感謝申し上げます（順不同・敬称略）****

沼津市立病院、富士市立中央病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、静岡県立静岡がんセンター、聖隷沼津病院、NTT 東日本伊豆病院、市立伊東市民病院、三島中央病院、静岡医療センター、共立蒲原総合病院、有隣厚生会富士病院、富士脳障害研究所附属病院、岡村記念病院、三島社会保険病院、伊豆赤十字病院、国際医療福祉大学熱海病院、JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院、裾野赤十字病院、静岡県立総合病院、焼津市立総合病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、静岡市立静岡病院、静岡県臨床衛生検査技師会理事（16 施設）



***** 終了後に記念撮影 *****



皆さんお疲れ様でした！

【4】微生物部門

4-1-1. 顕微鏡検査:試料 31

血液培養ボトルに脱繊維素ウマ血液と少量の *Candida albicans* を接種し、一夜培養した血液培養ボトルの培養液(ホルマリン固定済み)を試料とし、本作製から染色・鏡検の一連の手技についての確認を目的とした。また、臨床情報から菌種の推定や臨床へのコメントについても調査対象とした。

表 4-3-1-1. グラム染色液

グラム染色液(試薬名)	施設数
neo - B&M ワコー	15 (32.7%)
バーミーM 染色キット	12 (26.1%)
フェイバーG「ニッスイ」	10 (21.7%)
グラム染色液 B&M ワコー	3 (6.5%)
グラムハッカー染色液(I, II, III)	3 (6.5%)
自家調整、その他	3 (6.5%)

表 4-3-1-2. 染色所見 (複数回答あり)

染色所見	施設数
酵母様真菌	46 (100%)
グラム陰性桿菌	1 (2.2%)

表 4-3-1-3. 臨床へのコメント (複数回答あり)

コメント内容	施設数
形態より <i>Candida sp.</i> が疑われる	10 (21.7%)
形態より <i>Candida albicans</i> が疑われる	5 (10.9%)
真菌性眼内炎のリスクが高いため眼科受診をお願いします	10 (21.7%)
カテーテル感染の可能性もあるため確認してください	1 (2.2%)
β -D-グルカンの検査を追加してください	1 (2.2%)
コメント無し	21 (26.5%)

4-1-2. 同定検査 1(病院・検査センター用):試料 32

材料が喀痰という設定で *Bacteroides fragilis group* を輸送用培地(シードスワブ)にて配布し、各施設の同定方法および臨床へのコメントを調査目的とした。

表 4-3-2-1. 同定菌名

同定菌名	施設数
<i>Bacteroides fragilis group</i>	10 (30.3%)
<i>Bacteroides sp.</i>	15 (45.7%)
<i>Prevotella disiens</i>	1 (3.0%)
<i>Prevotella sp.</i>	3 (9.0%)
嫌気性グラム陰性桿菌	3 (9.0%)
回答なし	1 (3.0%)

表 4-3-2-2. 臨床へのコメント (複数回答あり)

コメント内容	施設数
血液培養2セットが陽性であり、起因菌の可能性が高いです	5 (15.2%)
<i>Bacteroides</i> 属はペニシリン耐性の可能性があります	2 (6.0%)
分離頻度は低いですが、ESBLやMBL産生株も報告されているので要注意	1 (3.0%)
大腸癌などの器質的疾患が推定されます	1 (3.0%)
コメント無し	24 (72.7%)

4-1-3. 同定検査 2(食品検査センター用): 試料 33

Vibrio parahaemolyticus, *Yersinia enterocolitica*, *Escherichia coli*, *Enterococcus faecalis* の 4 菌種を混合した試料を輸送用培地(シードスワブ)にて配布し、分離技術および同定精度を調査目的とした。

表 4-3-3-1. 同定菌名 (複数回答あり)

同定菌名	施設数	同定菌名	施設数
<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	36 (92.3%)	<i>Enterococcus faecalis</i>	14 (42.5%)
<i>Vibrio mimicus</i>	1 (2.6%)	<i>Enterococcus faecium</i>	1 (2.6%)
<i>Aeromonas sobria</i>	1 (2.6%)	<i>Enterococcus sp.</i>	4 (5.0%)
<i>Yersinia enterocolitica</i>	24 (61.5%)	<i>Aerococcus sp.</i>	1 (2.6%)
<i>Morganella morganii</i>	1 (2.6%)	<i>Staphylococcus aureus</i>	1 (2.6%)
<i>Escherichia coli</i>	29 (74.4%)		
<i>Escherichia coli</i> , enterotoxin-producing	1 (2.6%)		
腸管病原性 <i>Escherichia coli</i>	1 (2.6%)		

4-1-4. 同定・薬剤感受性試験: 試料 34

Enterococcus faecalis (VRE) の同定および感受性試験の施設間差を確認するため、輸送用培地(シードスワブ)にて配布し、同定菌名、薬剤感受性試験、臨床へのコメントを調査目的とした。

表 4-3-4-1. 同定菌名

同定菌名	施設数
<i>Enterococcus faecalis</i>	32 (97.0%)
<i>Enterococcus sp.</i>	1 (3.0%)

表 4-3-4-2. 感受性試験の測定方法 (VCM)

測定方法	施設数
微量液体希釈法	30 (91.0%)
ディスク拡散法	2 (6.0%)
Etest	1 (3.0%)

表 4-3-4-3. VCM の MIC 値と判定結果

MIC 値 ($\mu\text{g/mL}$)	感受性 (S) 判定の施設数	中間 (I) 判定の施設数	耐性 (R) 判定の施設数
2	3 (9.0%)		
4	2 (6.0%)		
8		9 (27.3%)	
16		5 (15.0%)	
> 16			11 (33.7%)
≥ 32			1 (3.0%)
(ディスク法)		1 (3.0%)	1 (3.0%)
計	5 (15.0%)	15 (45.3%)	13 (39.7%)

表 4-3-4-4. 臨床へのコメント (複数回答あり)

コメント内容	施設数
VRE が検出されました	6 (18.2%)
VRE が疑われます	5 (15.2%)
VIE が検出されました	2 (6.0%)
院内感染対策上重要な菌です	16 (48.5%)
5 類感染症全数把握疾患に該当し保健所への届け出対象菌です	11 (33.7%)
VRE の確認のため遺伝子検査が必要となります	3 (9.0%)
アミノグリコシド系薬が高度耐性です	2 (6.0%)
VCM 以外の抗菌薬を検討してください	1 (3.0%)
腸管の保菌状況を確認するため便検体を提出してください	1 (3.0%)
コメント無し	3 (20.6%)

内部精度管理に関する調査結果 (38 施設から回答)

1. 貴施設で感受性試験の内部精度管理を実施していますか？

回答結果	施設数
実施している	12 (31.6%)
実施していない	24 (63.2%)
回答なし	2 (5.2%)

2. 内部精度管理を実施できない理由を教えてください。

回答結果	施設数
標準菌株を持っていないため	12 (31.6%)
コストがかかるため	9 (23.7%)
人手が少ないため	5 (13.2%)
精度管理の方法が分からないため	2 (5.3%)
内部精度管理は必要ないため	2 (5.3%)
その他	9 (23.7%)

《輸血検査部門》

ABO 血液型、Rh(D)型、不規則抗体について 2 試料を配布した。到着後速やかに実施方法に従い、自施設で日常行っている検査手順や再検基準に基づいて精査を進める方針として、可能な限り最終判定まで実施し、報告することとした。

配布試料の解説

検体は、血液センターから譲渡して頂いた RCC-LR、FFP-LR を用いた。FFP-LR は配布前日に解凍し、それぞれ別々の容器に 3ml ずつ分注した。

試料 41 は、AB 型・Rh(D) 陰性・不規則抗体スクリーニング陰性検体である。

試料 42 は、O 型・Rh(D) 陽性・不規則抗体スクリーニング陽性検体であり、抗 S 抗体に特異性を認める。

試料 No	ABO 血液型	Rh(D) 型	不規則抗体
41	AB 型	Rh(D) 陰性	陰性
42	O 型	Rh(D) 陽性	陽性(抗 S)

お知らせ

**平成 25 年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会は
12 月 8 日(日)9:30～「あざれあ」にて開催します。**

多くの会員・賛助会員の参加をお願い致します。

日臨技会員カード(2012 年発行)を必ず持参して下さい。

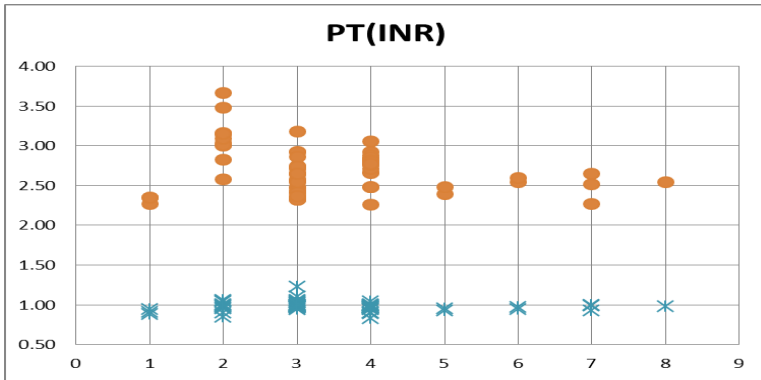
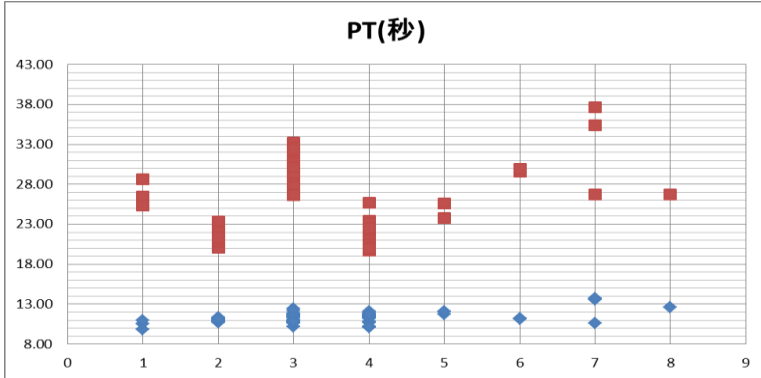
血液検査部門中間報告

静岡県立こども病院

鈴木 勝己

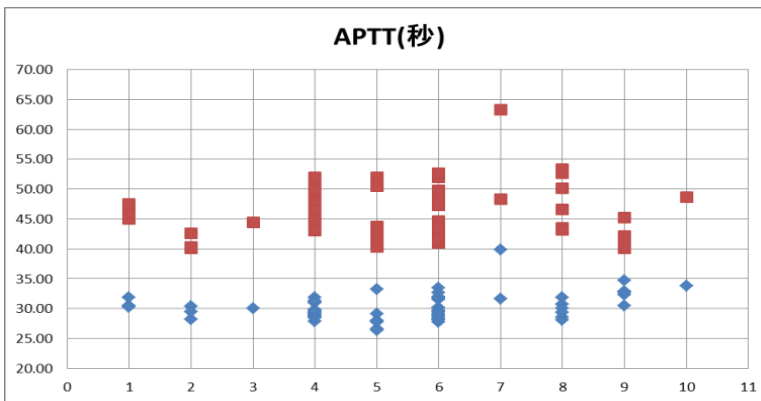
【凝固】

今年度も試料として正常域とPT延長検体の2種類のヒ凍結プール血漿を使用しPT、APTT、フィブリーノーゲンの3項目について調査を実施した。今年度の正常域試料は例年にくらべPTが短く心配したが、3項目とも平成23、24年度と比較してCV値は小さく収束傾向を認めた。しかしながら試薬、測定機器間のバラツキは例年どおり大きく、今後劇的な変化がなげこれ以上の収束は困難と思われる。



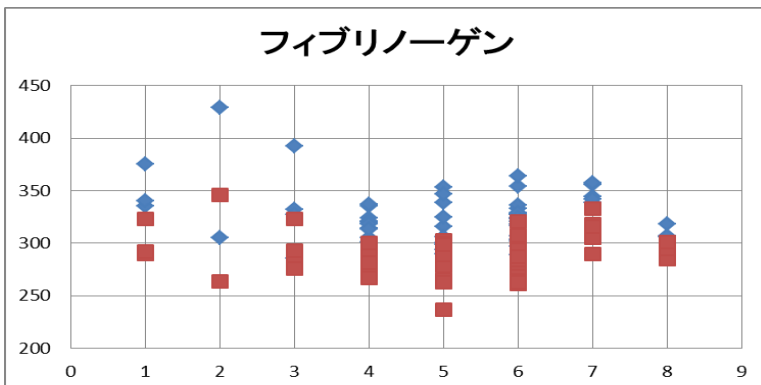
PT試薬

- 1: ヒーモスアイエルリコンビラスチン
- 2: ドライヘマト PT
- 3: トロンボレルS
- 4: トロンボチェックPT
- 5: トロンボチェックPTプラス
- 6: コアグピアPT-N
- 7: STAネオプラスチンR
- 8: STA試薬シリーズPT



APTT試薬

- 1: STA試薬セファスクリーン(APTT)
- 2: アクチンFSL
- 3: コアグピアAPTT-N
- 4: データファイAPTT
- 5: トロンボチェックPTプラス
- 6: トロンボチェック APTT
- 7: トロンボチェック APTT(S)
- 8: トロンボチェック APTT-SLA
- 9: ヒーモスアイエル シンサシル APTT
- 10: プラテリンLS II



フィブリーノーゲン試薬

- 1: ヒーモスアイエル フィブ・C(II)
- 2: ヒーモスアイエル リコンビラスチン
- 3: ドライヘマト Fib
- 4: データファイ フィブリーノーゲン
- 5: トロンボチェック・Fib
- 6: トロンボチェック・Fib(L)
- 7: コアグピアFbg
- 8: STA試薬シリーズフィブリーノーゲン

【血算】

今年度も各機器に互換性を有するEDTA加ヒ新鮮血液を試料とし、温度管理に注意し問題なく調査が実施できた。結果的には昨年同様で赤血球系は良好な収束を示し、白血球、血小板は多少のバラツキが認められた。全体的に収束状況のなかで一部の施設で機器管理に疑問を感じるデータがあり、原因を究明し、今後の検査に活かしてほしい。今年度よりウェブによる調査が開始され、それに伴い検査項目の報告単位が変更になった。結果として6施設で単位の間違えによる桁違いの報告がされた。今回は単位変更後初めての調査だったので、施設に確認後訂正して集計を行った。実施要綱に具体例を挙げて注意を促したが残念な結果であった。また試料測定は到着当日の測定をお願いしてあったが5施設で守られなかった。

参加施設全体の集計結果

	WBC 試料24	WBC 試料25	RBC 試料24	RBC 試料25	Hb 試料24	Hb 試料25	Ht 試料24	Ht 試料25
MEAN	3.9	2	4.38	2.22	13.1	6.6	38.7	19.7
MIN	3	1.4	4.17	2.14	12.7	6.3	36.9	18.5
MAX	4.2	2.1	4.74	2.3	13.5	6.9	41.5	21.1
SD	0.15	0.09	0.07	0.03	0.15	0.12	0.87	0.49
CV	3.72	4.63	1.71	1.55	1.14	1.76	2.24	2.49
*	4.1		4.55		13.5			
**	3.7		4.20		12.7			
+2SD	4.2	2.1	4.53	2.28	13.4	6.8	40.5	20.7
-2SD	3.6	1.8	4.23	2.15	12.8	6.4	37	18.7

	MCV 試料24	MCV 試料25	MCH 試料24	MCH 試料25	MCHC 試料24	MCHC 試料25	PLT 試料24	PLT 試料25
MEAN	88.6	89	29.9	29.8	33.7	33.5	260	131
MIN	85.2	85.3	29	28.7	31.1	32	221	114
MAX	93.5	99	31.5	31.7	35.7	35.3	294	161
SD	1.76	2.08	0.41	0.57	0.78	0.64	12.3	7.28
CV	1.99	2.33	1.37	1.91	2.3	1.92	4.72	5.57
*	92.1						279	
**	85						242	
+2SD	92.1	93.2	30.7	30.9	35.3	34.8	285	145
-2SD	85	84.9	29	28.6	32.2	32.2	236	116

*臨床的許容限界上限

**臨床的許容限界下限

【血液像（形態）】

今年度も実際の標本観察にこだわり、健常人とWHO分類でt(15;17)(q22;q12);PML-RARAを伴う急性前骨髄性白血病の2種類のメイ・ギムザ染色済末梢血塗抹標本試料にて調査を実施した。今年度の健常人検体の調査結果は、異型リンパ球を多くカウントする施設も少なく概ね良好な結果であった。試料28の白血病症例は、典型的な形態を示さないいわゆる亜型で、白血病細胞が単球様の形態を示したこともあり、単芽球、前単球、単球など単球系の細胞に分類した施設がかなり認められた。この白血病は診断できれば分子標的療法が利用でき、また細胞形態で白血病分類が可能で形態のもつ重要度が高い。参考データや標本観察で白血病の予測は容易だと思われるが、白血病の分類が出来るかどうか重要なポイントとなる。今回の調査では、白血病細胞を芽球様細胞や異型・異常細胞と分類している施設があり、実際に急性前骨髄性白血病と同定できたかどうかの確認が出来なかった。最後に考えられる白血病はなどの設問を用意しておけばよかったと反省している。また今回の調査で細胞帰属の不明な細胞が検出されたときの検査側の対応(分類方法)についても施設間で違いがみられ今後の問題点と思われた。

試料28白血球分類値(芽球、前骨髄球、単球、その他細胞1.2と細胞名)

施設コード	骨髄芽球(%)	前骨髄球(%)	単球(%)	その他の細胞1(%)	その他の細胞1名称	その他の細胞2(%)	その他の細胞2名称	他1+他2+芽球+前骨髄球(%)
105	2.5	0.5	4.5	72.5	白血病細胞	7.0	ファゴット細胞	82.5
106	7.0	79.0	0.0	0.0		0.0		86.0
107	0.0	0.0	1.0	93.0	異常前骨髄球	0.0		93.0
108	68.0	23.0	2.0	0.0		0.0		91.0
109	73.5	6.5	10.0	0.0		0.0		80.0
110	10.5	0.0	1.0	86.5	異常前骨髄球	0.0		97.0
114	0.0	0.0	1.5	95.0	白血病様細胞	0.0		95.0
116	97.0	0.0	0.5	0.0		0.0		97.0
120	0.0	5.0	3.5	43.0	芽球様細胞	41.0	芽球様細胞	89.0
122	16.0	72.0	6.0	0.0		0.0		88.0
123	5.0	22.5	34.0	10.0	前単球	0.0		37.5
129	0.0	0.0	1.0	94.5	異常芽球様細胞	0.0	*	94.5
130	2.0	1.5	54.0	20.0	単芽球	15.0	前単芽球	38.5
132	0.0	0.0	3.5	89.5	芽球様細胞	0.0		89.5
134	0.0	0.0	1.0	92.0	白血病様細胞	0.0		92.0
137	0.0	2.5	0.5	92.5	芽球	0.0	なし	95.0
143	95.0	3.0	0.0	0.5	ファゴットセル	0.0		98.5
145	0.0	0.0	0.5	96.5	Blastoid	0.0		96.5
148	20.0	77.0	0.5	0.0		0.0		97.0
149	16.0	0.0	0.0	79.5	単芽球	0.0		95.5
155	1.0	93.0	1.0	0.0		0.0		94.0
156	10.5	22.5	21.5	12.5	faggot cell	2.0	前骨髄球	47.5
157	0.0	0.0	1.0	93.0	前骨髄球様細胞	0.0		93.0
161	0.0	90.0	0.0	0.0	なし	0.0	なし	90.0
165	0.0	0.0	3.0	90.0	芽球様細胞	0.0		90.0
205	0.0	0.0	0.5	96.0	芽球様細胞	0.0		96.0
206	4.5	43.0	2.0	46.0	前骨髄球様細胞	0.0	なし	93.5
208	13.0	83.0	0.0	0.0		0.0		96.0
209	0.0	0.0	2.0	70.0	芽球様細胞	0.0		70.0
210	0.0	0.0	0.0	94.0	芽球様細胞	0.0	なし	94.0
211	0.0	0.0	0.0	94.0	異常細胞	0.0		94.0
214	0.0	0.0	0.5	95.0	芽球様細胞	0.0		95.0
215	0.0	0.0	0.0	93.5	異型細胞	0.0		93.5
216	0.0	0.0	0.0	96.0	APL様細胞	0.0		96.0
218	0.0	0.0	1.0	93.5	芽球様細胞	0.0		93.5
221	0.0	0.0	0.0	94.0	Blast様細胞	0.0		94.0
223	2.0	0.2	0.0	93.5	白血病細胞	0.0		95.7
225	0.0	2.5	2.5	89.5	単球様異型細胞	4.5	Blast	96.5
226	0.0	92.0	3.0	0.0	なし	0.0	なし	92.0
229	0.0	0.0	2.0	94.5	異常細胞	0.0		94.5
230	0.5	0.5	78.5	7.0	幼若単球様細胞	0.0		8.0
231	0.0	0.0	2.0	95.0	芽球様細胞	0.0		95.0
237	1.5	90.5	2.5	0.0		0.0		92.0
241	5.0	91.0	1.5	0.0		0.0		96.0
301	0.0	0.0	1.5	94.5	白血病細胞	0.0		94.5
302	0.0	0.0	3.0	23.0	単芽球	66.0	前単球	89.0
304	87.0	4.0	1.0	0.0		0.0		91.0
305	0.0	0.0	0.0	97.0	白血病様細胞	0.0		97.0
306	79.0	19.0	0.0	0.0		0.0		98.0
309	15.5	0.0	0.0	79.5	単芽球	0.0		95.0
312	88.0	4.0	0.5	0.0		0.0		92.0
314	0.0	0.0	0.0	95.0	芽球様細胞	0.0		95.0
316	0.0	95.0	0.0	0.0		0.0		95.0
318	32.5	3.0	0.5	54.0	幼若単球	0.0		89.5
319	0.0	0.0	0.5	93.5	*	0.0		93.5
320	7.5	0.0	1.5	0.0	異型幼若細胞	85.0		92.5
321	0.0	0.0	0.5	96.5	芽球様細胞	0.0		96.5
322	13.5	3.5	0.0	77.5	単芽球	1.0	好酸球骨髄球	95.5
324	0.0	0.0	0.0	94.0	芽球様細胞	0.0		94.0
325	0.0	0.0	0.0	94.0	*	0.0		94.0
326	0.0	0.0	1.5	89.0	芽球様不明細胞	0.0		89.0
332	91.5	0.0	2.5	0.0		0.0		91.5
333	0.0	89.0	6.0	0.0	無し	0.0	無し	89.0
349	4.0	4.0	6.0	80.0	単芽球様細胞	0.0		88.0

研修会終了報告

研修会名	平成 25 年度 静岡県標準化事業 第 1 回静岡地区（市）意見交換会
開催日	平成 25 年 8 月 23 日（金）
会場	静岡県立総合病院 6 F つつじホール
参加人数	40 人
研修会内容	<p>静岡市内意見交換会は、今回が初回でしたが 40 名とたくさんの方の参加をいただきました。平日の夜であるため時間も短く、ディスカッションの時間が十分取れなかったように思いますが、賛助会員の皆さんにもディスカッションに加わっていただいたことで明確な回答をしていただくことができました。</p> <p>ただ、急な開催で十分な案内ができなかったこともあり、技師の占める割合が少なく、参加施設数も少なかったことは、会の趣旨から考えても少し課題が残るところです。</p> <p>今後は、たくさんの方の施設の新人、初心者の方の参加を期待し、皆さんと共に会を盛り上げていけたらと思います。会員の皆さんによるプレゼンテーションを通して若手、中堅技師のスキルアップを図っていけたら幸いです。</p> <p>次回も引き続き精度管理中心に意見交換をしていきたいと思しますので、皆さん多数ご参加下さい。</p>

静臨技会員数 2013/9/20 現在
1,496 名 日臨技総合情報システムより

平成25年 10月・11月・12月の行事予定

10月

- 1日(火) 第3回常務理事会・第5回 静臨技理事会 : 技師会事務所
12日(土) 平成25年度 第1回 微生物検査研究班研修会 : あざれあ
18日(金) 静岡県標準化事業 第2回 西部地区意見交換会 : 遠州病院
19日(土) 平成25年度 第3回 血液検査研究班研修会 : 静岡市立静岡病院
25日(金) 静岡県標準化事業 第3回 中西部地区意見交換会 : 市立島田市民病院
26日(土) 平成25年度 伊豆市社会福祉大会 : 修善寺生きいきプラザ
26日(土) 平成25年度 第1回 生理検査研究班研修会 : 焼津市立総合病院
26日(土)～27日(日)
平成25年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会 : 富山地鉄ビルディング

11月

- 2日(土) 平成25年度 日臨技中部圏支部 輸血検査研修会 : 岐阜大学医学部
3日(日) 平成25年度日臨技・中部圏支部微生物検査研修会 : TKP 名古屋栄カンファレンスセンター
8日(金) 静岡県標準化事業 第9回 東部地区意見交換会 : 三島市民文化会館
13日(水) 第4回常務理事会 : 技師会事務所
14日(木) 平成25年度衛生検査所精度管理責任者等研修会 : 口腔保健医療センター
15日(金) 平成25年度 第3回 病理細胞研修会(細胞) : 沼津市立病院
22日(金) 日臨技中部圏支部幹事会・中部地区連絡協議会 : ホテルグリーンパーク津
23日(土) 平成25年度 第2回 生理検査研究班研修会 : 三島市民文化会館
23日(土)～24日(日)
平成25年度 日臨技 中部圏支部 医学検査学会 : 三重県総合文化センター

12月

- 1日(日) 減塩・低カロリープロジェクト 2013 : 浜松市医師会館
8日(日) 平成25年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会 : あざれあ
11日(水) 第5回常務理事会・第6回静臨技理事会 : 技師会事務所
15日(日) 第14回 静岡血液フォーラム : 静岡市立静岡病院

☆ 求人情報 ☆

(一社)静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒410-2211 伊豆の国市伊豆長岡 1129

順天堂大学医学部附属静岡病院 検査室 勝又 俊郎 まで。

E-mail : jtd_kensa_tk@yahoo.co.jp TEL : 055-948-3111 (内線 1021)

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

ご意見・情報等お待ちしております。

渉外広報部(編集責任者)松岡敏彦まで t.matsuoka@hmedc.or.jp

静臨技ニュース9月号(抜粋カラー版)をホームページに掲載しました。

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 25 年 9 月 20 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。

平成 25 年 (10) (敬称略)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
<p>10 月 12 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>あざれあ 502 会議室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成 25 年度 第 1 回 微生物検査研究班研修会</p> <p>「肺炎マイコプラズマ抗原検査キット」の紹介 極東製薬工業株式会社 営業学術部 関戸 紗由里 先生</p> <p>「細菌の分類」 日水製薬株式会社 研究部 遠藤 隆一 先生</p> <p>「微生物検査の基本な操作」 刈谷豊田総合病院 臨床検査・病理技術科 蔵前 仁 先生</p> <p>「細菌の分類」では、細菌の分類と分類のポイントについて講演していただきます。 今春出版の「微生物検査ナビ」の「基本的な操作」の担当執筆者である蔵前先生に微生物検査における基本操作について講演していただきます。 今年度から微生物検査を始めた技師は、ぜひご参加ください。また、中堅、ベテランの技師の方も、手技の再確認をするいい機会です。</p>	<p>No. (130016922) 検体—専門—20 点</p> <p>静岡県立総合病院 大石 和伸 (054-247-6111) 内線 2250</p>
<p>10 月 18 日 (金) 18 : 30 ~ 20 : 45</p> <p>JA 静岡厚生連 遠州病院 3 階 講堂</p> <p>参加費 無料</p>	<p>静岡県標準化事業 第 2 回 西部地区意見交換会</p> <p>< 話題提供 ></p> <p>①遠心分離の目安は？ —生化、凝固検体での回転数— JA 静岡厚生連 遠州病院 望月 夏来 技師</p> <p>②検査データに影響を及ぼす要因について —検体の採取条件ほか— 聖隷三方原病院 増田 拓 技師</p> <p>< 意見交換 > 精度管理等について意見交換をしたいと思います。</p>	<p>No. (130018564) 検体—専門—20 点</p> <p>静岡県立総合病院 菌田 明広 (054-247-6111) (PHS 8502)</p>
<p>10 月 19 日 (土) 14 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>静岡市立静岡病院 12F 講堂</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p>平成 25 年度 第 3 回 血液検査研究班研修会</p> <p>『末梢血液像の見方 基礎～実践』 医療法人弘遠会 すずかけセントラル病院 検査部 小杉 律子 技師</p> <p>『フローサイトの結果の見方・考え方』 (株) ベックマンコールター ライフサイエンステクニカルマーケティング 統括部門 高野 邦彦 先生</p> <p>検体検査をはじめ、病理検査でも必要な知識の勉強会になりますので、血液検査に携わっていない方々もぜひご参加下さい。</p>	<p>No. (130013727) 検体—専門—20 点</p> <p>三島社会保険病院 大橋 勝春 (055-975-5545)</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
10月25日（金） 18：30～20：45 市立島田市民病院 本館2階 栄養指導室 <u>参加費 無料</u>	静岡県標準化事業 第3回 中西部地区意見交換会 <事例報告> ①妨害イオンの影響だと思われるクロール 異常高値を示した事例 焼津市立総合病院 森 綾香 技師 ②共存物質の影響（アンモニア）でBUN測定が 阻害された事例 静岡済生会総合病院 松村 遥 技師 <意見交換> ・精度管理について ・各検査室で抱える問題点について	No. (130018036) 検体—専門—20点 静岡県立総合病院 菌田 明広 (054-247-6111) (PHS 8502)
10月26日（土） 修善寺生きいき プラザ	平成25年度 伊豆市社会福祉大会 誰もが健康で明るく安心した暮らしが送れる ことを目的として開催されます	No. (130018553) 公益活動—基礎—20点
10月26日（土） 9：30～16：00 焼津市立総合病院 講義室 会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円	平成25年度 第1回 生理検査研究班研修会 9：30～受付 10：00～「研修医向けの循環器学 心電図の読影法」 焼津市立総合病院 循環器科長 野村 裕太郎 医師 11：40～ 昼食 13：00～「ちょっと変わった？心電図 case study」 公立学校共済組合東海中央病院 臨床検査科 林 博之 技師 14：10～「肺年齢と最近の呼吸機能トピックス」 フクダ電子(株) 商事営業部 仁田原 武 先生 15：10～「新しい動脈硬化指標 CAVI について」 フクダ電子(株) 血管予防営業部 濱谷 雅子 先生 心電図・肺機能・血圧脈波検査 集中講習会 ぜひご参加ください。	No. (130015583) 検体—専門—20点 焼津市立総合病院 内藤 章 (054-623-3111)
10月26日（土） 12：00～17：30 10月27日（日） 9：00～ 富山地铁ビルディング 5階ホール 受講料 8,000 円 申込締め切り 10月10日（木）	平成25年度 日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会 <研修会1日目 10月26日（土）> 13：00～「脂質異常症の分類と診断基準」 14：10～「免疫抑制・化学療法により発症する B型肝炎対策ガイドライン」 15：20～「心筋マーカーの役割と各心疾患 ガイドライン」 16：30～「IGG4 関連疾患と包括診断基準」 <研修会2日目 10月27日（日）> 9：00～「劇症I型糖尿病と緩徐進行I型糖尿病」 10：10～「検査技師のガイドライン」	日臨技中部圏支部 生物化学分析検査 研修会 事務局 〒931-8517 富山市下飯野 36 富山県高志 リハビリテーション病院 臨床検査科 澤井 真史 (076438-2233) (内線 383)

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

日時・会場・参加費	研修内容・講師（敬称略）	点数・担当・連絡先
<p>11月2日（土） 13：00～18：00</p> <p>岐阜大学医学部 1階 大会議室</p> <p>11月3日（日） 9：00～</p> <p>岐阜大学医学部 4階 4S02 教室</p> <p>受講料 5,000 円</p> <p>申込締切り 9月30日（月）</p> <p>定員 60名</p>	<p>平成25年度 日臨技中部圏支部 輸血検査研修会</p> <p><研修会1日目 11月2日（土）> 岐阜大学医学部 1階 大会議室 12：30～ 受付 13：00～ 開講式・オリエンテーション 13：15～ 『ABO RhD血液型検査を正確に行うためには』 14：00～ 『臨床的意義のある不規則抗体の検出について』 14：45～ 休憩 15：00～ 『輸血副作用について』 15：45～ 『輸血検査室の精度管理』 16：30～ 『輸血用血液製剤の管理』 17：30～ 実技研修オリエンテーション</p> <p><研修会2日目 11月3日（日）> 岐阜大学医学部 4階 4S02 教室 8：30～09：00 受付 9：00～15：00 【実技研修】（昼休憩を含む） 血液型（ABO・Rh） 交差適合試験 不規則抗体の検出 解説</p>	<p>〒507-8522 岐阜県多治見市 前畑町 5-161</p> <p>地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 輸血部 八木 良仁</p> <p>(0572-22-5311) (内線 2632)</p> <p><u>日臨技 HP の 会員ページから登録</u></p>
<p>11月3日（日） 10：00～17：00</p> <p>TKP 名古屋栄カン ファレンスセンター</p> <p>受講料 6,500 円 交流会 6,500 円</p> <p>申込締切り 10月20日（日）</p> <p>定員 120名</p>	<p>平成25年度日臨技・中部圏支部微生物検査研修会 『輸入感染症 ー微生物担当者の経験ー』</p> <p>10：00 オリエンテーション、説明 11：00 特別講演 「定期接種化が待たれる任意接種ワクチン 水痘、ムンプス、B型肝炎、ロタウイルス胃腸炎」 江南厚生病院こども医療センター顧問 尾崎 隆男 先生</p> <p>12：00 昼食 13：00 「輸入感染症4症例のまとめ」 名古屋大学大学院医学研究科教授 八木 哲也 先生</p> <p>グループワーク 実際の輸入感染症ケース (4症例について) 愛知県微生物研究班班員 輸入感染症ケース① ② ③ ④</p>	<p>小牧市民病院 臨床検査科 宮木 祐輝 (0568-76-4131) (PHS 5298)</p> <p>JA 愛知厚生連 江南厚生病院 臨床検査技術科 舟橋 恵二 (0587-51-3333) (PHS 5109)</p> <p><u>申込方法等は実際の 参加案内を参照して 下さい。</u></p>
<p>11月8日（金） 18：30～20：30</p> <p>三島市民文化会館 第一会議室</p> <p>参加費 500 円</p>	<p>静岡県標準化事業 第9回 東部地区意見交換会</p> <p>① フェリチンの測定試薬の変更時に苦慮した事例紹介 共立蒲原総合病院 中西 巧 技師</p> <p>② 当院の精度管理方法とコントロールデータの解釈に 苦慮した事例紹介 静岡県立こども病院 太田原 慎也 技師</p> <p>③ 各社市販管理血清の表示値・管理幅の信頼度について考える ～ 各メーカーへの調査結果からの考察 ～ 静岡県立こども病院 森里 幸 技師</p>	<p>No. (130021557) 検体—専門—20点 富士市立中央病院 臨床検査科 鈴木 英昭 (0545-52-1131)</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (4)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
<p>11月14日(木) 19:00～21:00</p> <p>浜松市 口腔保健医療センター 1F 講座指導室</p> <p>参加費 無料</p>	<p>平成25年度 衛生検査所精度管理責任者等研修会</p> <p>(1) 講演 「平成25年度衛生検査所立入検査の総評及び 精度管理について」 浜松市衛生検査所精度管理専門委員会委員長 聖隷浜松病院 臨床検査科部長 米川 修 先生</p> <p>(2) 特別講演 基本的検査(ルーチン検査)の読み方・考え方 信州大学医学部 病態解析診断学教授 本田 孝行 先生</p>	<p>No. (130021535) 検体—基礎—20点 浜松医療センター 臨床検査技術科 松岡 敏彦 (053-453-7111)</p>
<p>11月15日(金) 18:30～20:30</p> <p>沼津市立病院</p> <p>会員 300円 賛助会員 300円 非会員 600円</p>	<p>平成25年度 第3回 病理細胞研修会 (細胞)</p> <p>症例提示施設 ・富士市立中央病院 ・共立蒲原総合病院 ・富士宮市立病院 ・沼津市立病院</p> <p>細胞検査士資格の有無に関係なく、多数ご参加ください。</p>	<p>No. (130018902) 検体—専門—20点 静岡県立静岡がん センター 本田 勝丈 (055-989-5222) 内線 2361</p>
<p>11月23日(土) 12:30～16:00</p> <p>三島市民文化会館 大会議室</p> <p>会員 1,000円 賛助会員 1,000円 非会員 2,000円</p>	<p>平成25年度 第2回 生理検査研究班研修会</p> <p>群馬県立心臓血管センターの岡庭裕貴技師を講師に迎えてみっちり心エコーのトレーニングを行います</p> <p>12:30～ 受付 13:00～ 心エコー 「検査前に確認すべきこと!!」 ～失敗しない検査のポイント～</p> <p>14:00～ 休憩 14:10～ ライブ「心臓の診かた」 ～正しい心エコー図検査をするために～</p> <p>15:00～ 症例から学ぶ心エコー 『この所見が大切です!!』</p>	<p>No. (130017372) 検体—専門—20点 順天堂大学医学部 附属静岡病院 検査室 浅野 由喜乃 (0559-48-3111)</p>
<p>11月23日(土)～ 11月24日(日)</p> <p>三重県総合文化 センター</p>	<p>平成25年度 日臨技中部圏支部 医学検査学会 「明日の医療の担い手となる臨床検査技師」 ～多様な医療へどう関わっていくか～</p> <p>特別講演 「ポストゲノム時代の臨床検査」 ～先制医療と個別化医療における役割～ 三重大学大学院医学研究科 検査医学講座教授 登 勉 先生</p> <p>公開講演 「小さい車の可能性」 本田技術研究所 主任研究員 浅木 康昭 先生</p> <p>シンポジウム 「明日の医療の担い手となる臨床検査技師」</p>	<p>学会事務局 〒510-8567 三重県四日市市芝田2丁目2番37号 市立四日市病院 中央検査室内 (059-354-1111) (内線 6250)</p>

臨床検査関連研修会・講習会 (5)

日時・会場・参加費	研修内容・講師 (敬称略)	点数・担当・連絡先
12月1日(日) 10:00~15:30 浜松市医師会館	「減塩・低カロリープロジェクト 2013」 一般市民を対象に、低塩・低カロリー食についての必要性を考える 主催 一般社団法人 浜松市医師会 共催 一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会	No. (130021546) 公益活動—基礎—20点
12月8日(日) 9:30~12:30 あざれあ 大ホール他 参加費 1,000円	平成25年度 静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会 日臨技会員カード(2012年発行)を 必ず持参して下さい。	No. (130018575) 検体—基礎—20点 静岡県立総合病院 菌田 明広 (054-247-6111) (PHS 8502)
12月15日(日) 10:00~17:00 静岡市立静岡病院 12F 講堂 会員 6,000円 賛助会員 6,000円 非会員 10,000円	第14回 静岡血液フォーラム 9:30 ~ 受付 10:00 ~ 11:10 第1講演 『血液像の実践的見方』 愛知医科大学 榎本 めぐみ 技師 11:25 ~ 12:35 第2講演 『凝固検査のすすめ方』 三菱化学メディエンス 澤畑 一樹 先生 13:30 ~ 15:10 第3講演 『MDSの形態的特徴から診断まで』 川崎医科大学教授 通山 薫 先生 15:30 ~ 16:40 第4講演 『フローサイトメトリーによる 急性白血病の診断のしかた』 亀田総合病院 名塚 隆 技師	No. (130011550) 検体—専門—20点 三島社会保険病院 大橋 勝春 (055-975-5545)
1月11日(土) 13:00~18:00 金沢市アートホール 1月12日(日) 9:00~ 金沢医科大学 受講料 11,000円 1日目のみ 8,000円 申込締切り 11月8日(金) 定員 80名	平成25年度 日臨技中部圏支部 一般検査研修会 <研修会1日目 平成26年1月11日(土)> 11:00 ~ 受付・開講式・オリエンテーション 12:00 ~ 『あなたの力にかかっている髄液検査の 責務とは』 13:40 ~ 『尿沈渣成分の鑑定術その背景、 そしてベテラン技師の極意とは』 16:10 ~ 『病態把握の手法と評価される検査・ 技師とは』 <研修会2日目 平成26年1月12日(日)> 9:00 ~ 『寄生虫症の現状と問題』 10:05 ~ 実習① 12:15 ~ ランチョンセミナー 13:20 ~ 実習② 15:30 ~ 閉講式	事務局 公立つぎ病院 臨床検査室 木村 由 (076-272-1250) (内線 230) <u>日臨技 HP の 会員ページから登録</u> <u>E-mailによる登録</u>

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい